

新たな100年へ

池井戸貞夫会長年度テーマ



超我の奉仕

国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly
ReportE-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp <http://rc.nagoya-seinan.org/>

第500回例会 No.7平成17年8月25日(木) 晴

ガバナー補佐訪問

ロータリーソング 「我等の生業」
出席報告 会員49名中34名出席
出席率 72.34% 出席計算人数47名
修正出席率 8月11日 休会
ゲスト 成田洋之ガバナー補佐
糸井 学ガバナー補佐幹事

会長挨拶

池井戸貞夫

本日は、成田洋之ガバナー補佐と糸井学(さとる)ガバナー補佐幹事をお迎えしての、第500回例会です。大変にありがとうございます。

今日は、大型台風11号が東海地方に接近しているとのことです。どうかお気をつけいただきたいと思います。さて私もそうですが。

今、国民の41%が「睡眠負債者」だと言われていきます。なかなか寝付けない、眠った気がしない。必要な睡眠時間が取れない。こうした状態の人を「睡眠負債者」と警告をしています。国別の睡眠調査によりますと、睡眠時間の最短は日本人で、41%が6時間以下という「睡眠収負債者」が最も多かったようです。そのツケは、さまざまな形で社会に噴出しています。それは増加の一途をたどる生活習慣病、年間3万人を超える自殺者数も無関係ではない。先月行われた、日本睡眠学会では自殺未遂者の7割~8割の人に、深刻な睡眠不足が見られたと報告されました。最近ではこの睡眠負債者は子供にまで及んでいるそうです。その現象は学力低下、落ち着きがない、キレやすいと言った子供の背景にも睡眠負債者が指摘されているそうです。

眠気をもたらすメラトニンは、子供の成長に欠かせないホルモンでもあるといわれています。その分泌が最も活発なのが三歳から五歳。この時期に作った睡眠負債が将来どんなツケとなって返って来るか分からない。アメリカでは既に1989年に「睡眠障害研究国家委員会」が設立され、眠気が原因の事故だけでも、経済損失は日本円で約7兆円になると推計されています。睡眠障害はれっきとした病気であることが認識され、医療機関の整備にも着手し、今では約4000の専門機関が存在しているそうです。日本でも最近になってやっと「眠り」の大切さが見直されつつあります。東京都内の一流ホテルでは、不眠に悩む人に良質の眠り

を提供する試みが活発だそうです。もっとも注目を集めているのが、今年の5月オープンした「ホテルロイヤルパーク汐留」の「快適ルーム」で最新のテクノロジーで安眠を追求する、いわゆる「昼寝」を見直す動きも賑やかになってきています。名古屋のオフィス街でも昼寝スペースを提供する新しいビジネスが活気づき、昼寝専用ベッドまで誕生しているそうです。戦後、日本人は眠りを軽視し犠牲にしてきました。やっと日本人も人間らしい生活に気づき始めたと言えると思います。

ニコBOX

成田洋之ガバナー補佐、糸井学ガバナー補佐幹事ガバナー補佐訪問にお伺い致しました。

今日は成田洋之ガバナー補佐が訪問されました。ようこそ名古屋西南ロータリークラブへ！池井戸会長、鈴原幹事、長谷川、渡邊、中川、後藤、中野、浮貝、安江、林、藤田、磯部、水野(敬称略)

近藤さん 10ヵ年皆出席表彰ならびに8月の誕生日祝をいただき誠に有難うございます。

森さん 成田ガバナー補佐、糸井ガバナー補佐幹事、本日は宜しくお祈りします。

岡田さん 誕生日プレゼントありがとうございます。

川崎さん 先週は牛祥で例会していただきありがとうございました。

川原さん 長期に欠席して申し訳ありませんでした。

加藤さん 台風無事通過してくれるよう祈ります。

大平さん 21世紀の日本の将来は如何になりますか。

丸山さん 鶉飼のツーショット写真ありがとう！台風11号が近づいています。被害が少ないといいですね。

大林さん、西垣さん、小野さん、

津田さん = 船は行く イタリア村の 大花火 =

本日合計 67,000円

幹事報告

- 次週例会前に理事役員会がございますので該当の方はご出席お願い致します。

ガバナー補佐ご挨拶

西名古屋分区ガバナー補佐 成田洋之



皆様こんにちは。9月8日の公式訪問事前協議のため、西名古屋分区ガバナー補佐として訪問させていただきました成田洋之です。同道しましたのは補佐幹事の系井学です。どうぞよろしくお願いいたします。

先程の会長幹事懇談会の席では、池井戸会長、鈴原幹事からクラブ概要などいろいろお聞きしました。親子クラブという事で、ほとんどみなとクラブと同じで何も申し上げる事はございません。というよりもこの10年間ですばらしい発展をとげてみえる事に感心しました。なかでもその集約された昨年の10周年式典や記念誌、女性会員、カンボジアに代表される国際奉仕などその最たるものかと思えます。

以下、パワーポイントにて説明をさせていただきます。重要と思われるところのみ記述させていただきます。最初のところは今年度の概要です。

今年のRIステンハマー会長テーマは「超我の奉仕」です。強調事項は 識字率向上・教育 水保全 継続性 会員増強等です。

そして今年度のRI会長賞は6項目で、 の会員増強純増1名が必須の他、公共イメージと4大奉仕の5項目の中から4項目の実行で達成です。西南クラブはローターアクトも提唱されていますので両方獲得して下さい。

次に2760地区高橋ガバナーの方針は 超我の奉仕の具体化 会員増強と退会防止 愛・地球博の成功 公共的イメージの向上です。

又、補佐のクラブに対する任務も沢山ありますが、要するにガバナーご指導のもと、各クラブと地区の連携調整役と心得ています。

さらに、重要な会合への参加ですが、中でも例会、ガバナー公式訪問、地区大会等は全員の参加が望まれます。尚、公式訪問は9月8日(木)当ホテルにてみなとクラブと合同でおこなわれます。

又、今年度の地区大会は豊田西ロータリークラブのホストで10月22日、23日に開催されます。

財団からのお願いもがございます。

人頭分担金の値上げ 3年間限定の2年目です。

年次寄付「毎年あなたも100ドルを」「Every Rotarian, Every Year」です。ロータリーカードの作成です。オリエント・コーポレーションと契約。スタンダード・カードは会費無料で特典は1万枚発行後使用

金額の0.3%を財団へ。です。

以上は皆様方のクラブ計画書に詳しく書いてございます。

次からは私がこれまでロータリーに関して学んだ中で、基本であるとか、大切だと思った事、最新情報等を問答形式で時間の許す限り述べさせていただきます。

最初にロータリー創立者4人と基盤を創った4人とは。

まずロータリーの創立者4人とは:ポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ロア、ハイラム・ショーレー。です。次に基盤を創った4人とは、ポール・ハリス(創立者)です。チェスリー・ペリー(32年間RIの事務総長を務め、定款、細則等の組織基盤ハードを創った人)です。アーチ・クランフ(ロータリー財団の財政基盤を創った人)。アーサー・シェルドン(サービスの理念、奉仕の心、職業倫理の概念等のソフトを創った人)です。

ロータリアンの三大義務とは。

例会出席(ロータリーの創立当初からで4回も続けて休む薄情な人には真の友情はない。) 会費納入(人頭分担金が毎年2ドルずつ値上げされています。) 雑誌の購読(全員購読が義務づけられています。「購」の方は確かですが「読」の方はいかがでしょうか。積ん読んだと困りますが。)

奉仕に関しては。

「超我の奉仕」はロータリーの第1標語。本年度RIテーマでもあります。原型は1910年フランク・コリンズの Service, Not Self(無私の奉仕)です。要するにサービス第1、自己第2、見返りを求めずに人のためにつくす です。1988年規定審議会で第1標語になっています。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」は第2標語で、原型は1910年アーサー・シェルドンが唱えた。2004年に性差別規定用語で He が They に変更されています。唯、日本の提案でロータリーにとって歴史的に重要な声明や文章はその原文を尊重する案も出され He も使用できるそうです。

クラブ奉仕と親睦については。

クラブ奉仕が「クラブを変える」。クラブ奉仕の基本は例会です。又、例会はロータリー活動の本質です。例会は会員相互の友情と親睦を深める場として、奉仕の理想、奉仕の心を育む場として、切磋琢磨の自己研鑽に励む修練の場として最も重要とされています。よって例会の運営に当たる者は、クラブ会員が貴重な時間を割いて出席するのですから、それに値するメリットを与える義務がある。限られた例会時間に有益な情報を効果的に提供するかを考え実行しなければならない。会長の時間、各種の報告、卓話そのひとつひとつがロータリー運動の質を高め、参加者に深い感銘を与える内容であってこそ、例会参加の意義が満たされる。米山梅吉氏は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っているし、アメリカのレークブラシッド・クラブの入り口には「入って学び、出でて奉

仕せよ」と書かれています。例会で高められた奉仕の心を持って、職場、社会に帰り、奉仕活動を実践する。これが理想とされるロータリーライフです。

次に親睦ですが広辞苑は親しく仲良くなる事と書いてございます。ロータリーで言う親睦とは違います。例会の場で、自己研鑽、人間性を向上させる一連の活動のことを純粋親睦と呼んでいます。飲みに行ったり、ゴルフ等に付き合うことは親睦活動に参加するという事です。

まとめますと、例会出席によって得られるメリットの方が、事業上の貴重な時間を割くデメリットよりも大きくなければならない、と言うことです。

職業奉仕に関しては、

職業奉仕はロータリーの原点、根幹と言われていいます。他の奉仕団体と大きく異なる点が職業奉仕です。理念は1910年アーサー・シェルドンが提唱したHe Profits most who serves bestです。この奉仕理念を正しく理解し、例会で奉仕の心を育み、自分の職業の質、道徳性を高めて自己の天職たる職業を通じて社会に個人的(I Serve)に奉仕する。具体的な行動指針はハーバード・テラーが1932年提唱した四つのテストです。

会員増強と退会防止に関しては、

8月は会員増強・拡大月間です。今年度の地区会員増強委員長のキャッチフレーズは、会員増強の柱とは 若い人々への呼びかけ 女性会員への働きかけ。退会防止としては 現会員の再教育・指導 楽しいクラブ計画の必要 子クラブの拡大となっています。

要するに「質を重視すれば数はおのずとついてくる」、2002年度ビチャイ・ラタクルR1会長の言葉が印象的です。

ロータリー財団の概要は、

使命：地域レベル、全国レベル、国際レベルの人的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリー綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること。(2000年2月改訂)

寄付：年次寄付 毎年続けられ、3年後のプログラムに使用「毎年あなたも100ドルを」「Every Rotarian, Every Year」 恒久基金 ベネファクター(1000ドル)、大口寄付者(10,000ドル以上)使途指定寄付プログラム：人道的プログラム(地区補助金、マッチンググラント等) 教育的プログラム(国際親善奨学金、GSE、財団学友等) ポリオプラス(2005年7月5日で12カ国、649件の症例)

ロータリー財団は複雑多岐に渡っていますがポリオ・プラス等、全世界や地域社会に大きく貢献しています。

参考文献と資料。

ロータリーの原論(RI第2680地区 PG 田中毅)

ロータリーの源流(RI第2680地区 PG 田中毅)

R1現況報告(RI第2590地区 PG 上野孝)

ロータリー情報マニュアル(RI第2650地区 ロータリー情報マニュアル編集委員会)

以上、ガバナー補佐の卓話とさせていただきます。

委員会報告

出席

委員長 浮貝文夫



10ヵ年皆出席を迎えられた近藤智洋さん、川崎美恵子さん、安江英雄さんにダイヤ入り会員章を贈呈致しました。

米山記念奨学寄付

副委員長 小野嘉彦



10周年記念事業としての米山クラブ寄付に感謝状をいただきましたのでご披露致します。

RIM議事録

第1回ロータリー情報ミーティング

平成17年8月4日 18:00～ 安江

リーダー：大塚嘉彦 司会：安江英雄(報告)

出席者：森田正樹、吉田光一、和田直美、中野雅司、服部鈞治、津田初子(8名)

報告

テーマ：「西南RCを良くするための本年度の希望と抱負」

- ・ 常識をはずれた話し合い
- ・ 退会者の再入会の勧誘
- ・ クールビス、ノータイ、上衣なし、アロハシャツ
- ・ 家族会での地引網、またはシャコ採り等
- ・ ロータリー活動の一環としてボランティア上での食事
- ・ 卓話のときにロータリー館での合唱ビデオ上映
- ・ 情報ミーティングの予定者全員出席
- ・ 災害でロータリアンが被害にあわれている場合、ロータリアンが助成する
- ・ メーカーの来会者のケア担当者を決める

- ・ 茶道クラブを設立
- ・ 増強のための他クラブからの引き抜き作戦

RI会長メッセージ 超我の奉仕

朋友ロータリアンの皆さん

2005-06 年度、私たちは、確固たる基盤および羅針盤となる過去の成功の数々、そして意欲を引き出す豊かな歴史とともに、ロータリーの奉仕の第2世紀へと踏み出しました。私たちは過去の栄光に閉じこもるべきではありませんが、そこから学ぶことは、将来への確かな前進のエネルギーとなるはずで

す。このことを念頭に置きながら、私は、自分の重要な使命を的確に表すテーマを選ぶべく、これまでの世紀にロータリアンが書き記してきた数々の叢智に満ちた言葉に目を向けました。私たちの思考を導き、行動を促すあらゆる感動的なメッセージの中でも、ロータリーの標語「超我の奉仕」の5文字ほど、的確にロータリーとロータリアンの精神を言い表している言葉はありませんでした。私たちがロータリーの第2の百年の第1章を書き始める今年度に、国際ロータリーの会長となることができ、大変光栄に思います。この重要な年度のテーマとして「超我の奉仕」を選ぶことは、ロータリアンを鼓舞する最も意義深い言葉を使いたいという私の願望を反映しています。しかし、私はまた、ロータリーでの日々を簡素に保つ努力、すなわち、過去からの継続を維持しつつ、未来に向けてまっすぐな道のりを据えることが必要であるとの思いから、このテーマを提案いたします。従って、私は、これまでに絶大な成果を上げてきた、人類の基本的ニーズを表す諸分野に焦点を当てたいと望んでいます。このような分野の一つに、識字率向上と教育があります。一対一の取り組みから大規模な識字率向上プログラムに至るまで、ロータリークラブは、読み書きを学ぶ人々を助けるための数多くの素晴らしいプロジェクトを実施してきました。学校に教材を提供し、教師を教育し、子供たちに通学に必要な衣服や本を提供してきました。そして世界中の地域社会においては、ロータリアンが学校を訪問し、子供たちに本を読んで聞かせ、その逆に子供たちが本を読むのを聞いてあげてきました。これら数多くの成功にもかかわらず、未だ無数の成人が、簡単な文の読み書きができず、実用的な識字能力を備えていません。つまり、通常の業務や毎日の生活に必要な読み書きや計算を行うことができないのです。この問題によって、自分をはじめ家族を養う上で非常に多くの人々に制約が課せられており、この問題への取り組みに、ロータリーの豊かな経験と継続的活動が必要とされているのは明白です。2005-06年度を通じて、私は、世界各地でロータリアンが効果的に取り組んでいる問題、すなわち水保全に関連する活動も継続するようロータリアンに奨励していきます。ロータリークラブによる無数の水プロジェクトのおかげで、何十万もの人々が今や水を手に入れることができ、飲用水や適切な衛生

環境による多くの保健上の恩恵を受けています。しかし、未だ多くの課題が残されているのも事実です。あまりに多くの人々が、安全な水の供給を受けられず、適切な衛生環境に恵まれていません。その結果、予防できるはずの水を介在とした感染症によって死ぬ必要のない多くの人々が死亡しています。水保全問題はまた、食糧供給にも影響を与えています。1人の人間が必要とする毎日の食事を生産するためには、2,000 から 5,000 リットルもの水が必要とされているからです。国連は、この世界的な水の危機を「経済発展、貧困緩和、環境、そして平和と安全への脅威」と表現しています。飢餓を軽減し、この重要な資源が奪われている人々の保健と福祉を改善するために、ロータリアンの継続した活動が是非にも必要とされているのです。

識字率向上と水保全が注目すべき二つの重要な問題であると私は確信していますが、その一方で、ロータリークラブもまたこれに優るさまざまな重要問題に取り組んでいることを承知しています。ロータリーの素晴らしさは、奉仕の機会を数多く提供してくれることにあります。クラブは地元地域社会のニーズを見極め、それを叶えるためにいかにしてその人材源や資源を生かすことができるかを判断します。この草の根の参加がロータリーの成功の特徴であり、私は、地元や海外の地域社会にとって最も有益となる奉仕を引き続き行っていただくよう、すべてのクラブに奨励したいと思います。

しかしながら、これは一人で実行できることではありません。多くの場合、私たちは同じ理想や目標を共有する他団体と協力して活動することによって、地域社会のために多くを成し遂げることができます。年度の奉仕計画を立てられるにあたり、他団体と協力関係を結ぶことによって、クラブの活動をいかに広げることができるかを検討してみてください。

1911年、ロータリアンは「超我の奉仕」という標語を熱意をもって採択しました。それは、この標語が、生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表していたからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。私たちの生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私たちは自然に受け入れることができます。来たる年度、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

次回例会のご案内

9月8日(木) 第502例会

「ガバナー公式訪問」

名古屋みなとRCとの合同例会